



附属の使命 ～県との連携・協力～

24日(水)、1年2組細江級で算数科「いくつといくつ」の研究授業を行いました。子供たちが、生活科の学校探検で発見したことを題材にした楽しい授業で、子供たちも意欲的に発言していました。「たくさんの先生が見に来られるので楽しみです」と言う子供もいました。1年生ながらも附属の子供として頼もしい限りです。



実はこの研究授業、「校内研修活性化研修会」という名称で、富山県教育委員会が主催している事業の一つです。参加者は、公立小中学校の教務主任や研究主任等、研究推進の中心を担う中堅教員で、「授業分析の手法や授業研究の在り方について研修を行い、校内研修の推進を図る」ことが研修会の目的です。本校では、毎年、授業提供と事後研修会の研修指導者を務めています。

さて、先日配布した学校要覧「This is 富大附属小」は、ご覧になっていただけましたでしょうか。2ページ目に「本校の使命」として、次の5つが書いてあります。

- (1) 児童に初等普通教育を実施する。
- (2) 教員養成のための教育実習の指導を行う。
- (3) 教育研究を推進し、その交流・発信に努める。
- (4) 学部及び附属学園と連携し相互の発展に資する。
- (5) 住み良い地域・社会づくりに貢献する。



(3)に「教育研究を推進し、その交流・発信に努める」とありますように、本校は、富山県教育委員会や富山県小学校教育研究会(以下、県小教研)と連携を密にし、公立小学校の先生方の資質向上及び授業力向上に協力できるよう努めています。今回の「校内研修活性化研修会」もその一つとして行ったものです。以下、県と連携した取組の中で、本校の教員が行っていることを紹介します。

1 研究発表会の公開

→ご承知のとおり、本校では、春の研究発表会と秋の校内研究シリーズの授業を県内外に公開し、これから求められる授業の在り方や有効な指導法について発信しています。

2 県小教研における各教科等部会の運営

→県小教研は、県内の全教員が参加して教員としての資質と指導力の向上に努めている研究団体です。組織は14の教科等部会に分かれています。本校の教員は、副部長や専門委員として、各部会運営の推進役を担っています。

3 県小教研学力調査等の委員を担当

→県小教研では、毎年、学力調査を行っています。本校の教員は、学力調査委員として、作問や分析のまとめ役を担っています。他にも、県教育会が実施している「学習のたしかめ」の作問委員、夏休みのドリルや社会科の副読本（「きょう土のすがた」「のびゆく富山県」等）の編集委員、「思考大会」の作問委員、NIE教育委員等、多くの委員を務めています。

4 各種研修会における指導及び助言

→各地区小教研の授業研究や公立小学校の校内研修会に招聘され、講師を務めたり指導助言をしたりしています。

また、富山県教育委員会主催の「6年次教職員研修会」の中に、「先輩に学ぶ研修」があります。これは、採用6年目の教員が勤務校以外の学校の頼れる教員を自分で選んで、1日教えを請うものです。本校を頼って研修に来る先生方もいます。

本校の教員にとっては、通常の仕事に加えて行っていることでありますので、仕事量は間違いなく多くなります。しかし、公立小学校の先生方の道標となることが附属としての存在意義であると自負しています。みんな附属の教員としての誇りをもって取り組んでいます。

学習参観等、ありがとうございました

30日（火）は、学習参観に引き続き、通学班別保護者会、清掃奉仕活動、学級懇談会、そして、研究発表会の世係打合せ・・・と、長時間にわたり、そして、たいへん暑い中、ありがとうございました。

日ごろ、子供の手では掃除ができないところまで、ピカピカになりました。研究発表会に向けて、よい環境の中で学習が進められます。



（副校長 曲 師 政 隆）